

「絵本から物語へ

読書に誘う工夫や手立てについて」

講師 小幡章子氏

《プログラム内容》

10:00~12:00

《1》思春期の子どもへの読書支援について

=いまどきの中学生に確実に本を手渡すための工夫と手立て=

- ・ 思春期における読書の意味
- ・ 選書の工夫
- ・ 子どもたちとの対話
- ・ 付箋を利用した工夫
- ・ 物語の朗読について
- ・ 子供との物語を共有することの必要性



《2》児童期の子どもへの読書支援について

=力のある物語へ導くための3ステップ

絵本→昔話→創作物語=

- ・ 岡山市の学童クラブでの経験談
- ・ 物語絵本の活用
- ・ 昔話絵本の読み聞かせによって「聞く力」の土台づくりをする
- ・ 創作物語の手渡し方の工夫



《3》質疑応答

- ・ 障害を持った子どもたちへの本の手渡し方について
- ・ 今の子どもたちを取り巻く読書環境について
- ・ 親たちの考え方が子どもに与える影響について
- ・ ヴァーチャルな世界を楽しむ思春期の子どもたちに、本を手渡すことの難しさについて

★学校司書として勤務されていた講師ならではの、子どもたちに本を手渡す際の具体的な工夫が満載の講座であった。児童期と思春期の子どもたちの本に対する意識の違いも含め、ご自身の経験に基づいた子ども達の読書環境のお話やその中で本を子どもたちに手渡すことの意義など、エネルギー溢る講師のお話に引きこまれた2時間だった。司書の方々も多く参加されていたので、明日からすぐに実践できる工夫にみなさん目を輝かせていた。

